

試料・情報利用研究計画書(概要)					
研究番号	2025-1009	利用形態	共同研究		
研究題目	疾患コホート研究ネットワークによる疾患マーカー探索研究		研究期間	2025年8月 ～ 2029年3月	
主たる研究機関	東京大学大学院新領域創成科学研究科	責任者氏名・職	松田 浩一	教授	
分担研究機関	東北大学東北メディカル・メガバンク機構	責任者氏名・職	木下 賢吾	教授	
研究目的と意義	東北大学東北メディカル・メガバンク機構は、このたび東京大学バイオバンク・ジャパンとコホート間連携に関する共同研究を行うことになりました。東北メディカル・メガバンク機構は一般住民を対象としたコホート調査を実施し、その試料・情報をバイオバンクに保管し利活用を進めてきました。一方、バイオバンク・ジャパンは疾患患者を対象としたバイオバンクの研究を行っています。今回両バイオバンクが互いの情報を相互に活用するために必要な技術的問題を検討するために共同研究を行います。				
研究計画概要	東北大学で保管している血液試料、および付帯するゲノム・調査票情報(罹患歴)を東京大学に提供し、先方のオミックス解析基盤で解析するとともに、東京大学が保管している血液試料、および付帯する情報を東北大学に提供し、東北大学のオミックス解析基盤で解析します。得られた解析情報を相互に検討することで、両バイオバンクの情報の統合解析にむけた基盤構築を行います。				
利用試料・情報	対象:東北メディカル・メガバンク計画地域住民コホート・三世代コホートに参加された方 1,300名 試料:血液(血漿、血清) 情報:調査票情報(罹患歴)、ゲノム情報				
期待される成果	本共同研究はバイオバンクの更なる利活用につながり、医学研究の発展が期待されます。				
倫理審査等の経過	2025年5月 東京大学医科学研究所倫理審査委員会第一委員会				
倫理面、セキュリティ面の配慮	オミックス解析手法の技術開発のため、共同研究先であるバイオバンクジャパン(東京大学医科学研究所)に一部試料・情報を提供します。またバイオバンクジャパンでは、解析業務の一部を外部機関(ナイチンゲールヘルスジャパン)に業務委託を行います。東北大学東北メディカル・メガバンク機構において個人情報加工された試料・情報のみを用いるため、提供する試料・情報には、個人が特定できる情報は含まれません。				
その他特記事項	この研究は運営費交付金、AMED補助金及び共同研究費により実施します。				
	*公開日 2025年8月22日				